



<http://www.daitoken.com/tokyo/>

第 242 号 2018 (平成 30) 年 10 月発行

目 次

1. 2018/2019 年度第 1 回東京地域グループ例会のお知らせ----- 1
2. 東京地域グループニュースレター電子化切替照会 ----- 1
3. 2018/2019 年度東京地域グループ総会講演会記録：
東京地域グループ総会講演会「大学図書館評価の理論とその展開」参加報告
佐藤 歩 (成蹊大学図書館) ----- 2
4. 2018/2019 年度東京地域グループ総会記録 ----- 3
5. 会報「大学の図書館」の特集テーマ・編集スタッフ募集！ ----- 3
6. 2018/2019 年度第 1 回-2 回 (9 月-10 月) 東京地域グループ運営委員会記録 ----- 4
7. 全国大会検討 WG へのお誘い ----- 4

2018/2019 年度第 1 回東京地域グループ例会のお知らせ

第 1 回東京地域グループ例会：東京大学総合図書館見学会

日 程： 11 月 25 日 (日) 11:00-13:00 (予定) ※終了後、懇親会を予定しています。

場 所： 東京大学総合図書館

～アクセス～

東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線 本郷三丁目駅から徒歩 10 分、

東京メトロ南北線 東大前駅から徒歩 15 分、都営三田線 春日駅から徒歩 20 分

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general/contact>

集 合： 当日 10:45 から、東京大学総合図書館正面入口で担当がお待ちします。

参 加： どなたでもご参加いただけます。

申込先： 以下の申込フォームからお申し込みください。【申込〆切：11 月 18 日 (日)】

<http://bit.ly/2P8MOKW> ※定員に達し次第、申込受付を終了します。

10/2 にリニューアルオープンしたばかりの
ライブラリープラザも見学できる！



東京地域グループニュースレター電子化切替照会

運営効率化のため、引き続き、ニュースレターの電子化切替を希望する方を募集しています。

電子化切替をご希望の方には、紙版の送付を停止します。ニュースレターを発行する都度、東京地域グループ ML でご連絡しますので、電子版をご覧ください。電子版は東京地域グループウェブサイトで公開します。

(なお、ご希望の場合は紙版送付の再開ができますので、その旨ご連絡ください。)

【電子化切替の申込方法】

- 1) 氏名を明記の上、東京地域グループ運営委員会 (tokyo@daitoken.com) にメールにてお申し込みください。
件名は「ニュースレター電子化切替」としてください。
- 2) 東京地域グループ ML に未登録の方はウェブサイト <http://daitoken.com/tokyo/join.html#ml> よりメールアドレスを登録してください。

東京地域グループ総会講演会「大学図書館評価の理論とその展開」参加報告

佐藤 歩（成蹊大学図書館）

2018年8月5日、高池宣彦氏による講演会「大学図書館評価の理論とその展開—大学における図書館の価値を明らかにする方法—」に参加した。高池氏は現在、図書館員として勤務しながら、筑波大学大学院の博士課程で研究活動を行っていらっしゃるとのこと。講演は、高池氏の研究テーマである、大学図書館評価に関する内容であった。大学図書館評価の定義をもとに、何をどのように評価し、その評価によって大学における図書館の価値をどのように明らかにできるのかを、わかりやすく整理してお話いただいた。

はじめに「評価」について、辞書や研究者によるさまざまな定義を示された。「評価」という言葉を調べると、辞書には「価値を定めること、意義や価値を認めること」と記されている。評価理論の研究者である佐々木亮氏は、「事実特定+価値判断によって成り立つ」と示している。それらをふまえた上で、高池氏は図書館評価について、「図書館を定義+価値を明らかにすることによって成り立つ」と定義されていた。

この定義をもとに大学図書館評価を考えると、大学図書館の価値を明らかにするための前提が明確になっていない、と高池氏は指摘されていた。たとえば、蔵書数や入館者数に比べ、ガイダンスに参加した利用者の満足度は、数字で示すことが難しい。時代とともに、図書館サービスが実体的なものから、測定が難しい非実体的なものに発展してきていることから、インタビューやアンケート調査、利用行動の観察等、さまざまな視点から得た結果を組み合わせ、図書館サービスとの接触によって生じた効果や変化について評価すること（インパクト評価）が必要である、とおっしゃっていた。

さらに、大学評価基準との関連について説明された。すべての大学は2004年度から、文部科学大臣が認証する評価機関の評価（認証評価）を受けることが法律で義務付けられ、大学評価基準を満たしているかどうか判断されるようになった。そのため、認証評価の枠組みの中で、大学内において大学図書館がどのような役割を果たしているのかを明らかにすることが求められる。高池氏は日米の基準を比較検討し、図書館の機能や役割から、①資料やスペースの提供に重点を置いた設備整備型、②資料やスペースとともにレファレンスサービスなどの人的資源の提供を重視する教育・学習支援型、③教員との協働による教材開発や、カリキュラムの一部として図書館員が授業を担当する等の教育・研究との連携・統合型の3つに類型化した。この3つから、それぞれの大学の目的や方針あるいは図書館の役割に合った型を選択し、インパクト評価を活用することが、図書館の存在意義や価値のアピール、さらに大学評価の向上につながるという見解を示された。実際、認証評価による図書館評価は現実と乖離しているところもあるとのこと、大学図書館評価の定義や基準を理解することによって、図書館の価値を示しやすくなるのではないかと結んでいらっしゃる。

図書館業務に携わる中で、大学図書館評価という言葉を目にするにはあるものの、話をうかがって、私自身その内容や意義について理解できていなかったことに気づいた。加えて、大学図書館評価は大学全体の評価に関わるという認識を、図書館内だけでなく他部署とも共有し、大学が掲げる目標を考慮したうえで、それぞれの図書館で何ができるのかを考えていくことが求められると感じた。大学図書館評価について、多面的に教示いただくことができた有意義な時間であった。

（さとう・あゆみ / 成蹊大学図書館 / 2018年8月30日提出）

2018/2019 年度東京地域グループ総会記録

1. 開催日時 2018年8月5日(日) 15:30-16:30

2. 開催場所 神明いきいきプラザ集会室 B

3. 出席者(敬称略/五十音順)

青山, 石津, 上村, 牛島, 亀田, 小林, 佐藤, 武井, 立原, 南雲, 野村, 松原, 山口

4. 配布資料

資料1: 大学図書館問題研究会東京地域グループ 2018/2019 年度総会議案(事前配布)

資料2: 2017/2018 年度決算案・2018/2019 年度予算案

資料3: 2017/2018 年度会計監査報告書

5. 議事進行 石津, 記録 立原

6. 議事

A. 審議事項

1) 第1号議案 活動総括, 決算報告・会計監査報告

担当委員より, 資料1に基づき 2017/2018 年度(2017年7月~2018年6月)の活動総括について報告があり, 承認された。担当委員より, 資料2に基づき 2017/2018 年度決算について報告があり, 承認された。会計監査より, 資料3に基づき 2017/2018 年度会計監査について報告があり, 承認された。

2) 第2号議案 活動方針, 予算案, 地域グループ運営委員会

松原 2017/2018 年度東京地域グループ代表より, 資料1に基づき 2018/2019 年度(2018年7月~2019年6月)の活動方針について説明があり, 承認された。なお, 例会などに参加できない会員に向け, 会員限定で講演会資料を公開するなどの方策を検討することとなった。松原 2017/2018 年度東京地域グループ代表より, 資料2に基づき 2018/2019 年度予算案について説明があり, 承認された。

2018/2019 年度の東京地域グループ運営委員, 東京地域グループ代表, 全国委員, オブザーバー, 会計監査人について, 次の通り承認された。(敬称略/五十音順)

・運営委員

青山 史絵(あおやま ふみえ, 東洋英和女学院大学)

駒崎 知永理(こまざき ちえり, 東京大学)

立原 ゆり(たちばら ゆり, 東京大学)

野寄 恵(のぎき めぐみ, 所属非公開)

松原 恵(まつばら めぐみ, 国文学研究資料館)※地域グループ代表

山口 友里子(やまぐち ゆりこ, 一橋大学)※全国委員

・オブザーバー

石津 朋之(いしづ ともゆき, 筑波大学)

上村 順一(うえむら じゅんいち, 国立情報学研究所)

江沢 美保(えざわ みほ, 東京工業大学)

武井 駿介(たけい しゅんすけ, 東京大学)

西脇 亜由子(にしわき あゆこ, 明治大学)

なお, 今後のオブザーバーの選出, 増員については運営委員会に一任することとなった。

・会計監査人

佐藤 恵子(さとう けいこ)

南雲 知也(なぐも ともや)

B. 報告事項

特になし

以上

会報「大学の図書館」の特集テーマ・編集スタッフ募集!

東京地域グループは, 会報「大学の図書館」2019年発行分のうち, 1号分の編集を担当することになりました(参考: 2018年は7月号の編集を担当しました)。何月号の担当になるかは未定ですが, 担当号の特集のテーマ, 編集スタッフを東京地域グループの皆様から広く募集します。こんな特集だったら読んでみたいと思うテーマのご提案や, 原稿募集や誌面作成などの編集作業に携わってみたい方は, 下記宛先までお気軽にお問合せください!

お問合せ先: 東京地域グループ運営委員会 tokyo@daitoken.com

2018/2019 年度第 1 回-2 回（9 月-10 月）東京地域グループ運営委員会記録

紙面の都合上、議事のみ掲載いたします。議事内容の詳細は東京地域グループウェブサイトをご覧ください。

⇒ <http://www.daitoken.com/tokyo/operation.html#committee>

2018/2019 年度第 1 回 大学図書館問題研究会 東京地域グループ運営委員会 議事要旨

1. 日時: 2018 年 9 月 28 日(金) 19:30-22:00
2. 場所: オンライン (Google ドキュメント)
3. 出席者(五十音順/敬称略): 青山史絵, 駒崎知永理, 立原ゆり, 野寄恵, 松原恵, 山口友里子
4. 配布資料: なし
5. 議事
 - A. 審議事項
 1. 運営委員会の役割分担
 2. 運営委員会のグループウェア
 3. 年間スケジュール
 4. 全国大会検討 WG について
 5. 東京地域グループ第 1 回例会について
 6. 東京地域グループニュースレター242号について
 - B. 報告事項
特になし

2018/2019 年度第 2 回 大学図書館問題研究会 東京地域グループ運営委員会 議事要旨

1. 日時: 2018 年 10 月 15 日(月) 19:00-20:45
2. 場所: ルノアール ニュー新宿 3 丁目店
3. 出席者(五十音順/敬称略): 青山史絵, 立原ゆり, 松原恵, 山口友里子
4. 配布資料: なし
5. 議事:
 - A. 審議事項
 1. 運営委員会の役割分担
 2. 運営委員会のグループウェア
 3. 全国大会検討 WG について
 4. 東京地域グループ第 1 回例会について
 5. 東京地域グループニュースレター242号について
 6. その他
 - B. 報告事項
特になし

全国大会検討 WG へのお誘い

東京地域グループでは、2020 年に東京で開催される全国大会（東京）に向け、開催地として受け入れ体制を整えるため、全国大会検討 WG を立ち上げます。
東京地域グループ会員の有志で、全国大会のアイデアを出し合ひましょう！
(もちろん他地域グループの方もご参加いただけます。)

基本はオンライン（メール等）での活動としますが、キックオフのタイミング（11 月～12 月）で一度集まっていたくことを検討中です。東京地域グループ会員には交通費をお支払します。

全国大会の参加経験は問いません。イベント開催を経験してみたい、他大学の図書館員と知り合いたいという方も大歓迎です。お気軽にお問い合わせください！

お問合せ先：東京地域グループ運営委員会 tokyo@daitoken.com

『d-tokyo: 大学図書館問題研究会東京地域グループニュースレター』
第 242 号, 2018 年 10 月

事務局：〒272-0021 千葉県市川市八幡 3-14-27-202 上村順一気付
東京地域グループメールアドレス： tokyo@daitoken.com
東京地域グループ運営委員会編集担当：駒崎知永理